

第 1 回各務原市総合計画審議会 議事録

日時	平成 30 年 11 月 26 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 50	
場所	本庁 4 階 大会議室東	
出席者	市長	浅野 健司
	審議会委員 (敬称略)	会 長 柳原 幸一 (各務原商工会議所会頭) 副会長 紙谷 清 (各務原市社会福祉協議会会長) 委 員 青木 文子 (各務原市教育委員会委員) 小鍋 泰弘 (各務原市副市長) 北川 リツ (各務原市環境市民会議委員長) 木野 昇 (各務原市農業委員会委員長) 澤辺 明 (各務原市シニアクラブ連合会会長) 杉山 幹治 (各務原市子ども会育成協議会会長) 高木 朗義 (岐阜大学社会基盤工学科教授) 中野 峰夫 (各務原警察署署長) 西森 登 (各務原市自治会連合会会長) 宮田 延子 (中部学院大学看護学科教授) 森 勇 (各務原市民生・児童委員協議会会長) 横山 浩之 (各務原市体育協会会長)
	事務局	鷲主 英二 (企画総務部長) 加藤 雅人 (企画総務部次長) 木村 重信 (企画総務部次長) 大矢 貢 (企画政策課長) 遠藤 徹 (企画政策課主幹) 堀 善子 (企画政策課経営企画係長) 斉藤 由里子 (企画政策課政策推進係) 三輪 真也 (企画政策課政策推進係) 小林 俊彦 (企画政策課経営企画係) 中田 啓太 (企画政策課経営企画係)
欠席者	審議会委員	長縄 尚史 (かかみがはら暮らし委員会代表理事)
次第 1 委員の委嘱 2 市長あいさつ 3 委員及び職員の紹介 4 議事 (1) 会長・副会長の選任 (2) 会長・副会長のあいさつ (3) 諮問 (4) 各務原市総合計画後期基本計画の策定について		

5 その他

1 委員の委嘱

市長より各委員に委嘱状を交付

2 市長あいさつ

【市長】

総合計画を策定し、実際にスタートしてから4年目に入り、来年度が前期基本計画の最終年度、再来年度から後期基本計画のスタートに入っていく。総合計画前期基本計画の取り組みを振り返り、どのような課題があり、どのように変化すべきかを審議会では議論いただきたい。

各務原市の最上位計画となる総合計画後期基本計画を基に、市の発展に向けて推進していきたいと考えているため、皆様方の見識あふれる知識からいろいろなアドバイスを賜りたいと思う。

3 委員及び職員の紹介

4 議事

(1) 会長及び副会長の選任

会長は柳原委員、副会長は紙谷委員

(2) 会長・副会長のあいさつ

(3) 諮問

(4) 各務原市総合計画後期基本計画の策定について

〈事務局より説明〉

〈質疑意見〉

【A委員】

- ・スケジュール案を見て、市民ワークショップ、中高生ワークショップが有機的に機能しているかというのがすごく気になっている。
- ・安心して老いていけるまちであるということ、安心して子育てのできるまちであること、この2つが抑えられたら、おそらく各務原はすごく魅力的になると思っている。
- ・教育ICTについて、ハード面の電子黒板やタブレットを入れることも大事だが、それを運用するソフトとしての人側も大事である。

【B委員】

- ・現在、今年と昨年の自治会連合会の4役で自治会長の負担軽減についての検討を行っているが、それぞれの自治会の問題という部分もあり、なかなか統一した施策を実施するという状

況に至っていない。

【C委員】

- ・シニアクラブも自治会と同じように役員の担い手になる人がなかなかいない。魅力あるまちということで、今までとは違ってきたと言えるような施策を行ってほしいと思う。

【D委員】

- ・学校の先生方の地域に携わるという部分の認識が低さを感じている。自治会や子供会、シニアクラブ、スポーツ少年団などをもう少し結ぶために、市のほうと一緒にいけると変わってくると思う。

【E委員】

- ・中高生の意見の中で、誰もが安心して住み心地のよいまちにするために、意見を話し合うことが必要ということが出ているが、そういった話し合いの場があれば良いと思う。人口減少していくのに対して、人を増やしていかないと活力が出てこないと思う。

【事務局】

- ・1つ1つバラバラのものを繋げていくというのが今後大事になってくると考えるため、その点も含めて総合計画後期基本計画に反映していきたい。

【F委員】

- ・それぞれの地域特性にどんな課題があって、どういう改善が必要かなどを分析することで、5年間の課題、重点項目などの議論を進めていくことができると考える。

【事務局】

- ・分析できる範囲で分析し、計画に反映していきたいと考えている。

【G委員】

- ・農業に関しては、産学官の連携が行われて、特に人参のPRが行われている。今後も総合計画の中で、農業という点を入れていただきたいと思う。

【H委員】

- ・犯罪の予防、検挙に努めて、市民の皆さんの体感治安が安定するように努力しなければいけない。やはり治安を守っていくということが安心して暮らせることだと考えている。

【I委員】

- ・人口増減を目標にするのではなく、市民が暮らしやすい、幸せに暮らすというところを目標にする必要がある。
- ・地域の子どもたちが自分で考えた上でまちを離れたいことであれば応援していく。地域に留めようというような教育をしていたら志が低いと考える。

- ・子供達は大人と接する機会が圧倒的に少ない。これを解決するためには積極的に地域の方が関わらなくてはならない。個が非常に重要視される、あるいは人と違っていい、そういうことが認められる社会になりつつある。いろいろな大人がいろんな形で関わる機会を増やしていくということが非常に重要である。
- ・アンケート結果を政策に落とししていくためには、満足度の変化の原因を特定化しなければいけない。今は課題解決の方法はたくさんあり、重要なのは何が課題かということを見極めることである。
- ・ワークショップは意見を聞くだけではなくて、そこで人を育てて、そこから何かをやる、こうした人を育てていくためのものである。

【会長】

- ・本日の議事資料について、原案のとおり進めていくことに承認をいただきたいのですが、よろしいか。

(拍手多数)

- ・各務原市総合計画後期基本計画の策定について承認された。

5 その他

【事務局】

- ・次回の開催ですが、1月の下旬から2月の上旬を予定している。